

SEO対策の重要性について

Q. ホームページでSEO対策が重要と言われているが、本当にそうなのか？

要旨 分かりやすい例は、初めて訪問した観光地でランチのお店を探すシーンです。Google や Yahoo に「地名 ランチ 和食・イタリアン (食べたいジャンル)」を入力し、検索。消費者の傾向として、その時に一番上位に来るお店の情報から閲覧することが多いでしょう。社名やお店の名前が全国区でない限り、直接名前を検索はしません。よって、複数の検索ワードで上位に来るような対策が必須となります。

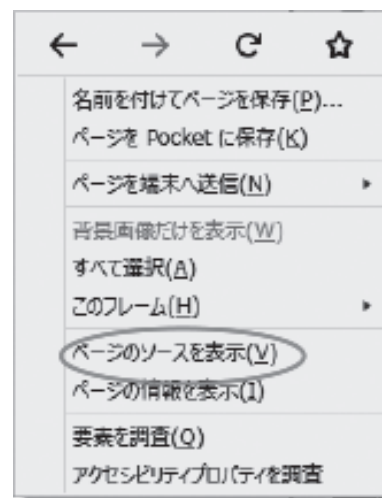
解説

1. SEO を意識したホームページか否かを判断できる方法

SEO は、Search Engine Optimization の略で、検索エンジン最適化を意味します。検索エンジンとは、主に Google・Yahoo の検索サイトを指します。重要なポイントは、スマートフォン対策している、優良なコンテンツを提供しているサイト（情報更新・キーワード設定とホームページ内容の一致）を目指す。まず二つを実行すれば問題ないと言えます。

ホームページをパソコンやスマートフォンで見るだけで SEO 対策の有無が目視で判断できます。

- ①スマートフォン対策が実施されている
スマートフォンで、取引企業のホームページを見て、見た目、パソコンから見た画面と同じであれば、スマートフォン対応していないことが分かります。
- ②情報更新が実施されている
企業や店舗のホームページでは「お知らせ」や「News」のコーナーがあります。この更新日付を見れば、情報更新の頻度が分かります。
- ③検索して欲しいキーワードを意識したホームページであるかの確認方法



ホームページ上にカーソルを置き、右クリックすると、上記のようなポップが出ます。「ページのソースを表示」をクリックすると、ソースと言われるページが開くので、以下の2点を確認します。

(上部 10 ライン以内に表示)

"keywords" content= 検索して欲しいキーワード

"description" content= 当該ホームページのキャッチコピー

(検索サイトで表示される説明文)

キーワードとキャッチコピーに同じ単語が入っているか？またホームページ内でも同じ単語が多用されているか？が確認のポイントです。

ユーザーにとり優良な HP 作成と SEO 対策

＜ご提案のポイント＞

- ・中小企業のホームページは、大手企業以上に SEO 対策が重要です。検索サイトで上位表示されれば、売上集客にプラスの影響を及ぼします
- ・すぐにできる SEO 対策は、ホームページの情報を最新化する、スマートフォン対応の実施です。スマートフォン対応は、作成を依頼した会社に相談します。
- ・SEO 対策の大前提は、「検索して欲しい言葉」を決めることです。そしてその言葉をしっかり記載することです。

1. 中小企業・小規模店舗こそ SEO 対策が重要

初めて訪問した観光地でランチのお店を探す場合、Google や Yahoo で検索し、消費者はその時に一番上位に来るお店の情報から閲覧すると思います。検索の際、社名や店の名前が全国区でない限り、直接名前を検索はしません。上位に表示されたお店を選んでしまうのが通常です。複数のワードを入力して、自社・自店舗のホームページが上位表示されることが集客・売上 UP の第一歩です。

2. 自社およびホームページ作成会社に依頼して、すぐできる SEO 対策を

SEO は Google 対策と考えられます。その理由は、Google が世界中で一番利用されている検索エンジンであり、Google で上位表示される仕組みを他の検索エンジン（Yahoo など）が利用しているからです。検索ワードを入力し上位に表示させる仕組みは、全て Google が独自で決めていると言われている約 200 のルール（アルゴリズムと言います）に従います。その中ですぐできる対策は、以下の 2 点です。

- ・現在のホームページの情報を最新化する（できれば日付入りのニュース掲載など）
- ・スマートフォン対応していない場合、費用面含めホームページ作成会社に相談する

3. ユーザー（閲覧者）にとって優良な情報を取得できるホームページに育て上げる

前述の Google が発表しているアルゴリズムの中で、「優良なコンテンツを提供しているサイトを上位表示する」というものがあります。「優良なコンテンツを提供」とは、検索されたワードを反映した、ユーザーが欲しい情報が網羅されている状態を指します。どんな人が、どんな時に、どのようなキーワードで検索されたら役に立つのか？を再度見直しをしてください。優良なホームページにするためには、検索されたいキーワードを決める。次にキーワードを含んだキャッチコピーを作る。そしてホームページ内にそのキーワードを入れた文章を盛り込みます（変更する際には、作成会社に相談が必要）。キーワードを考え、キャッチコピーを考え、内容を決めることは、自社の商品・サービスは誰にとって、どんな効果があるのか？事業の主たる柱を見つめ直すことになります。